

BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果（令和7年度）

●:感染好適条件 ○^{1~4}:準感染好適条件 ー:感染好適条件なし

●感染好適条件:湿潤時間中の平均気温が15～25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲にある

○準感染好適条件:好適条件に準ずる気象条件

準感染好適条件1: 湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満

準感染好適条件2: 湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上

準感染好適条件3:湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15～25℃の範囲外

準感染好適条件4: 湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い

※上記条件であっても、3mを越える風や時間雨量3mmを越える雨があると湿潤時間の継続が打ち切りとなり、感染好適条件でなくなる場合がある

感染好適条件が出現した日から7～10日後に発病する可能性がありますので、ほ場をよく観察し、いもち病の発生状況に応じて、適期に防除を行いましょう。

[illegible]